

小山町定例記者会見

8月

令和3年8月30日（月）
企画総務部 地域振興課



人の動き（令和3年8月1日現在）

人口 17,957人（前月比+13人）
世帯数 7,600世帯（前月比+34世帯）

★ 会見事項

- 1 地域経済活性化事業「2021 おやま応援プレミアム商品券」について
- 2 新型コロナウイルスワクチン接種 今後のスケジュールについて
- 3 富士山須走口閉山について
- 4 東海大学と高齢者の減災を切口とした健康づくりの共同研究について
- 5 令和3年度 健全化判断比率について
- 6 令和2年度 個人住民税の収納率について
- 7 株式会社東海ホールディングス鶏卵加工品の製造工場の建設工事について
- 8 新たな働き方の推進について
- 9 ライフステージに沿った新事業の展開について
 - ・初めての育児応援助成金制度について
 - ・遠距離通学支援助成金制度について
 - ・子どもの結婚を機に考える「親の幸せ、子の幸せ」応援講座について
- 10 おやま SDGs フェアの開催について

【その他】

◇次回の定例記者会見は

9月29日（水）15：30から 役場本庁3階 301会議室で行う予定です



地域経済活性化事業「2021 おやま応援プレミアム商品券」について

(小山町商工観光課)

1 概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食業をはじめとする町内事業所への経済対策及び町民の地域での消費を促すことを目的にプレミアム付きの商品券「2021 おやま応援プレミアム商品券」を販売する。

2 内容

(1) 2021 おやま応援プレミアム商品券について

販売価格	10,000円 (額面15,000円 プレミアム分5,000円 500円券30枚綴り)
発行数	9,500冊
プレミアム率	50%
商品券の内訳	・お食事券(3,000円分)【青色券】 対象：飲食店及び宿泊施設 ・お買物券(8,000円分)【黄色券】 対象：小売店、コンビニ、理美容院、ガソリンスタンドほか ・全店共通券(4,000円分)【赤色券】 対象：加盟店全てで使える共通券
経済効果額	1億4250万(15,000円×9,500冊)
利用期間	令和3年10月4日(月)～令和4年1月31日(月)

(2) 販売について

	第1期	第2期
販売期間	10月4日(月)～10月15日(金)	10月18日(月)～売り切れまで
販売場所	平日：役場本庁、各支所 土日：総合文化会館	平日：役場本庁、各支所 ※土日の販売はなし
販売時間	9:00～16:00	9:00～16:00
購入対象者	小山町民限定	限定無し
購入条件	1世帯3冊まで ※9月15日の全戸配布で配布する購入引換券が必要	1人5冊まで

【問い合わせ先】

商工観光課

商工班

電話 0550-76-6114



新型コロナウイルスワクチン接種 今後のスケジュールについて

(小山町健康増進課)

1 概要

現在30歳以上の方を対象に集団接種を実施しておりますが、今後、下記のとおりワクチン接種を進めていきます。

2 内容

- 25歳以上の方の集団接種予約受付開始 8月30日(月) 9:00～
- 20歳以上の方の集団・個別接種予約受付開始 9月6日(月) 9:00～
- 12歳以上の方の集団・個別接種予約受付開始 9月13日(月) 9:00～
- ※9月8日に12歳以上15歳未満(約100人)の接種券発送

- 個別接種(医療機関でのワクチン接種)

9月1日(水) 9:00から個別接種受付開始 25歳以上の方

※25歳未満の予約は、上記受付開始日からとなります。

9月13日(月) 接種開始(予約制)

医療機関

- ・ こうえい痛みのクリニック
- ・ 友成医院
- ・ なかがわ医院
- ・ 富士小山病院

詳細については、チラシのとおり

【問い合わせ先】

健康増進課

健康づくり班

電話 0550-76-6668



富士山須走口閉山について

(小山町商工観光課)

1 概要

9月10日、2年ぶりに開山した富士山が閉山します。本年、須走口では新しいマイカー規制乗換駐車場の整備、並びに山小屋での感染症対策事業費の支援を行いました。

また、10日には富士浅間神社にて小山町観光協会の主催により富士山須走口閉山式が斎行されます。

2 内容

(1) 令和3年度実施事業について

- ①新マイカー規制乗換駐車場（須走多用途広場）の整備
- ②山小屋での感染症対策事業費の支援

(2) 富士山須走口閉山式について

7月10日から9月10日まで、2カ月の夏山開山期間における、登山者及び山小屋関係者等の無事故と平穏無事を神様に感謝するとともに、地元須走地区の隆昌・発展を祈念する祭典「富士山須走口閉山式」を世界文化遺産「富士山」の構成資産である「富士山東口本宮 富士浅間神社」にて執り行います。小山町及び須走地区の関係諸団体の参列のもと、午前10時から社務所内講堂において式典が斎行されます。今後の状況により、中止の可能性があります。

- ①日時 9月10日(金) 10:00～
- ②会場 富士山東口本宮 富士浅間神社（小山町須走126）
- ③主催 小山町観光協会
- ④内容 通常、本殿で行われている神事ですが、密を避けるため、社務所内講堂での開催となります。

(閉山式についての問い合わせ)

小山町観光協会 電話 0550-76-5000

(3) その他

①須走口利用者数等（8/23 集計時点）

ア 須走口登山者数 7/10～8/23（45 日間）

- ・平成 30 年度：24,328 人（一日平均 541 人）
- ・令和 元年度：23,293 人（一日平均 518 人）
- ・令和 3 年度：8,242 人（一日平均 183 人）

イ 乗換駐車場利用台数 7/10～8/23（45 日間）

- ・平成 30 年度：4,700 台（一日平均 104 台）
- ・令和 元年度：3,738 台（一日平均 83 台）
- ・令和 3 年度：1,438 台（一日平均 32 台）

②今後の課題

ア 交通アクセス整備について

- ・乗換駐車場からのアクセス（シャトルバス）について、下山便の最終バスの時間延長に向けた調整を関係機関と実施していく。

イ 登下山道整備について

- ・濃霧時の道迷い防止のためのロープ設営について道路管理者と調整する。また、町管理部分についてはロープ設営を実施する。

ウ マイカー規制について

- ・ふじあざみラインのマイカー規制について、須走口の現状を考えた実施期間の見直しを関係機関と実施していく。

【問い合わせ先】

商工観光課

観光振興班

電話 0550-76-6114



東海大学と高齢者の減災を切口とした健康づくりの共同研究について

(小山町介護長寿課)

1 概要

高齢者の健康づくりや介護予防事業の推進について、一般的な健康づくりや介護予防の運動を普及する方法でなく、減災を切り口として体力の向上のための身体活動の促進を図るといったゲートウェイ（入口）を変更した集団戦略（ポピュレーションアプローチ）の有効性を検証するため、東海大学久保田晃生研究室との共同研究を行い、その結果を分析・評価し、新たな高齢者の健康づくりや介護予防施策の立案に活用する。

2 内容

本研究は、須走地区をモデル地区とした実践介入の研究であり、介入期間は令和3年10月から令和4年8月までとし、介入前後の令和3年9月および令和4年9月に介入評価のためのアンケート調査を実施し、その結果を分析・評価する。

(1) モデル地区への介入内容

モデル地区への主な介入内容は、減災体力の向上を図るためのチラシを毎月回覧等で配付することと、減災体力向上のイベント1回程度開催することである。

チラシではモデル地区から避難場所までのウォーキングマップや減災体力向上の筋力トレーニングを紹介し、イベントでは逃げる際に重要な歩行速度の測定、減災体力向上の筋力トレーニングの実践などを予定している。

(2) アンケート調査

65歳から84歳のモデル地区全員および比較対照地区（須走地区以外）のモデル地区と同数の方に身体活動に関するアンケート調査を実施する。

調査内容は、身体活動量、身体活動に関する意欲、減災体力の認知などとする。

(3) 主なスケジュール

令和3年9月：身体活動状況の実態調査アンケート（介入前）

令和3年10月：介入開始 令和4年8月まで予定

令和4年9月：身体活動状況の実態調査アンケート（介入後）

令和5年3月：報告書の作成

3 その他

研究に必要な経費は、科学研究費助成事業（研究代表者:東海大学久保田晃生教授）で支出する。

本研究は、東海大学と小山町との共同研究契約の締結、東海大学の倫理審査委員会の承認をもって実施する。

【問い合わせ先】

介護長寿課

地域包括ケア推進班

電話 0550-76-6669



令和3年度 健全化判断比率について

(小山町総務課)

1 概要

令和2年度決算の数値を基に、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4指標、いわゆる「健全化判断比率」について算定しました。

「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「将来負担比率」は算出されませんでした。

「実質公債費比率」は8.0%、前年度に比べ0.1ポイントの減となりました。

2 内容

区 分	小山町の比率		早期健全化基準 (令和2年度)	財政再生基準 (令和2年度)
	令和2年度	前年度		
①実質赤字比率	—	—	14.60	20.00
②連結実質赤字比率	—	—	19.60	30.00
③実質公債費比率	8.0	8.1	25.0	35.0
④将来負担比率	—	—	350.0	

【問い合わせ先】

総務課

財政管財班

電話 0550-76-6132



令和2年度 個人住民税の収納率について

(小山町会計収納課)

1 概要

令和3年度静岡県個人住民税徴収対策本部会議において個人市町村民税市町別収入率の状況が発表され、小山町は現年分・滞納繰越分合計の収納率が99.0%(昨年度98.7%)で県内1位となりました。また、静岡県個人住民税徴収対策本部会議で機関表彰されました。

2 内容

令和3年度個人住民税徴収対策本部会議が8月12日(木)にWEB形式で開催され、個人市町村民税市町別収入率の状況が発表されました。小山町は現年分収納率99.5%(昨年より0.1ポイントアップ)、滞納繰越分収納率55.6%(昨年度51.8%より3.8ポイントアップ)で現年分・滞納繰越分合計の収納率が99.0%(昨年度98.7%より0.3ポイントアップ)で県内1位となり、静岡県個人住民税徴収対策本部会議で機関表彰されました。

小山町はこれまでも県内で高い収納率を維持してまいりましたが、これも多くの町民の皆さんの高い納税意識の現れだと考えております。また、新型コロナウイルス感染症の影響などにより納付困難になった方には、納税相談や徴収猶予制度の案内をするなど適切な収納対策を行ってまいりました。

令和2年度には、Pay Pay、LINE Payなどキャッシュレス決済を導入し、納税者の利便性向上を図る取り組みも行いました。

今後も納期内納付の推進を図るとともに、納税相談など納税者に寄り添う対応をしつつ、税の公平性を保つために効果的、効率的な収納対策に取り組んでまいります。

収納率\年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
現年	99.1%	99.2%	99.4%	99.5%
滞納	43.6%	45.8%	51.8%	55.6%
現滞計	97.9%	98.2%	98.7%	99.0%
順位	2位	2位	2位	1位

【問い合わせ先】

会計収納課

収納推進班

電話 0550-76-6108



株式会社東海ホールディングス鶏卵加工品の製造工場の建設工事について

(小山町フロンティア推進課)

1 概要

富士山麓フロンティアパーク小山「2-2区画」において、株式会社東海ホールディングスによる鶏卵加工品の製造工場を建設する。

2 内容

起工式 令和3年8月24日

着工 令和3年8月25日

完成見込 令和4年4月30日

操業見込 令和4年8月頃

○予定生産量

月間予定生産量については、300トンを見込む。

主な販売先については、全国のスーパーマーケット、大手回転ずしチェーン、その他大手
外食チェーン等

【問い合わせ先】

フロンティア推進課

企業誘致・雇用対策室

電話 0550-76-6129



新たな働き方の推進について

(小山町理事・経済産業部)

1 概要

首都圏に隣接し、かつ優れた自然環境にも恵まれている小山町の地域特性を存分に活かし、ポストコロナ社会における新しい働き方（テレワーク、サテライトオフィス、ワーケーション）に対応する取組等により稼ぐ仕組みと雇用を創出することで、人口の自然増と社会減抑制を目指します。

2 内容

事業名(当初予算額)	事業内容
公共施設テレワーク環境整備事業 (1,500千円)	公共施設で町民及び来訪者がテレワークが実施できるよう、Wi-fi環境等を整備
サテライトオフィス設置推進事業 (6,000千円)	①町所有の建物等へのサテライトオフィスの誘致に必要となる改修 ②民間施設のサテライトオフィス化に必要となる改修経費の一部を助成
観光地ワーケーション受入環境整備促進事業 (1,000千円)	宿泊施設においてワーケーションの受入が可能となるよう、ワークスペースやWi-fi環境等の整備に係る経費の一部を助成

2 期待される効果

区分	内容
期待される効果	<ul style="list-style-type: none">・地元出身者やU/Iターン者の雇用の受け皿・空き家/空き地の利活用・交流人口や関係人口の増加

【問い合わせ先】

フロンティア推進課 電話 0550-76-6129

商工観光課 電話 0550-76-6114



初めての育児応援助成金制度について

(小山町人口政策室)

1 概要

初めての育児を行う保護者の負担軽減を図るため、育児用品の購入や家事代行サービスの利用に対し助成金の交付を行う「小山町第1子子育て応援助成金事業」を9月から開始します。

2 内容

(1) 対象者 令和3年4月2日以降に出生した第1子となる乳児の保護者

(2) 助成対象

- ・第1子の乳児の出生届日から満1歳までの物品購入やサービス利用（令和3年9月1日（施行日）以降）の経費が対象です。
- ・個人からの購入・サービス利用は対象外です（事業者発行の領収書が必要）。
- ・第1子の出産が双子・三つ子などの場合は、多胎児それぞれに適用します。

対象物品、サービス	助成額	上限額(※)
おむつ関連用品（紙おむつ、おむつライナー、おしり拭き等） 授乳関連用品（粉ミルク、哺乳瓶等）	購入額	82,000 円
ベビーカー又はチャイルドシート（1台まで）	1/2の額 上限1万円	
家事代行サービス （室内や風呂の掃除、おむつ等の買い物、家周りの手入れ等）	1/2の額	

※出生後に転入した場合の上限額は、転入届出日から月割で計算します。

(3) 助成の申請

- ・乳児が満1歳になる月の翌月末までに、対象経費のレシート（支払いを証する書類）を添えて交付申請する。
- ・助成金の交付金額が上限に達するまで申請できます。
- ・購入日・利用日及び申請日に、第1子の乳児と保護者が町に住民登録されていることが必要です。

本事業を通じて、第1子出産・子育てへの経済的不安の払拭を図るとともに、家事代行サービスの活用も対象とすることで初めての子育ての身体的・心理的負担の軽減を図ります。（詳細など対象者には個別に案内します）

【問い合わせ先】

小山町人口政策室

電話 0550-76-6114



遠距離通学支援助成金制度について

(小山町人口政策室)

1 概要

町外への進学を契機とした町内若年層の流出防止と定住促進を図るため、町外の大学等へ鉄道を利用して遠距離通学する学生に対し、通学費の助成を行う「小山町遠距離通学定期券購入費助成金事業」を9月から開始します。

2 内容

(1) 対象者

- ・鉄道利用片道 50km 以上の通学定期券を使用して町内から大学等に通学する町民
- ・大学等に入学した年度中に 26 歳以上にならない方（学年齢が 25 歳以下で大学等に入学した方）
- ・町公式 LINE アカウントからの配信を受けるなど、本町からの情報に関心を持ち町からのアンケートに協力できる方

(2) 対象となる遠距離通学 ※鉄道利用片道 50km 以上の例は別紙参照

- ・「大学等」 …大学、専門職大学、大学院、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校
- ・「通学定期券」 …鉄道会社が発行する通学用の定期券

(3) 助成金の額

- ・対象となる遠距離通学の通学定期券の購入費の 2 分の 1
- ・1 月当たり 3 千円を上限とします。
- ・助成期間は大学等が定める修業年限以内で、令和 3 年 9 月 1 日以降を対象

(4) 助成の申請

- ・通学定期券の写しと学生証の写しを添えて申請
- ・通学定期券の適用期間中に、1 回のみ申請できます。
- ・助成した定期券の払い戻しや退学・休学の際には助成金の返還を求めます。

本事業を通じて、本町に関心を持ち住み続けながら自身の将来を考えたり、町内から就職活動をしたりする学生を増やすことで、地域の次世代を担う若者の地元定着を図ります。

【問い合わせ先】

小山町人口政策室

電話 0550-76-6114



子どもの結婚を機に考える「親の幸せ、子の幸せ」応援講座について

(小山町人口政策室)

1 概要

定着人口の減少と少子化の要因となる未婚化・晩婚化に対し、結婚に向けた不安の解消や独身男女に出逢いの機会を提供する結婚支援事業を実施しています。

このたび、若年層が家族のサポートを受け結婚・出産・子育てができる環境づくりに向け、結婚への影響力が大きい親世代を対象に、子どもの幸せな結婚のために何ができるかを考える講座を開催します。

2 内容

- 日時 : 10月3日(日) 14:00~16:00 (開場 13:30)
会場 : 小山町総合文化会館 菜の花ホール
対象 : 町内在住・在勤の結婚適齢期の子を持つ親、若い人の結婚を応援したい人 (定員 40名程度)
内容 : 結婚適齢期の子どもとの関わり方
(応援の仕方や心構えなど)
参加料 : 無料
主催 : 小山町 (担当: 人口政策推進室)
申込方法 : 10月1日(金)までにウェブ応募フォーム又はFAXで申し込む

(講師) ぼうだあきこ氏 (棒田明子)

NPO 法人孫育て・ニッポン理事長、NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事、(社)産前産後ケア推進協会監事 など

※講演内容についてはパンフレット参照

3 その他

- ①会場へ来ることができない方のために、当日収録した内容を後日動画配信します(申込み必要)。(配信日:10月18日(月)~24日(日))
- ②10月3日の新型コロナウイルス感染拡大状況により、会場での開催を取り止め、ライブ配信(生配信)に変更する場合があります。

【問い合わせ先】

小山町人口政策室

電話 0550-76-6114



おやま SDGs フェアの開催について

(小山町企画政策課)

1 概要

町の施策が SDGs の目標達成につながるものであることから、SDGs の視点で各施策の整理を行い、今年3月に策定した小山町第5次総合計画に反映しました。町は、計画の進行管理により SDGs の推進を図るとともに、普及啓発にも取り組んでいます。その一環として、SDGs が 2015 年 9 月に国連で採択されたことにちなみ、下記のとおり、「おやま SDGs フェア」を開催します。

2 内容

(1) 期間

9月7日(火)～9月20日(月・祝)

(2) 場所

小山町総合文化会館（展示室・図書館など）

(3) 内容

- ・町内の取組展示
- ・おうちでできる取組展示
- ・子供向けコーナー(クイズパネルやグラフィックパネル展示)
- ・関連図書、絵本コーナー
- ・「わたしの SDGs」展示
- ・SDGs 紹介マンガ展示 他

(4) 参考

- ・おやま SDGs フェアチラシ

(5) 注意事項

- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容が変更になる場合があります。

【問い合わせ先】

小山町企画政策課

企画班

電話 0550-76-6133